

開講学科	建築学科	実務家科目				前橋工科大学 シラバス
		—				
科目名	建築設計 I	標準対象年次	選択/必修	科目コード		
		2年次	必修	14000501		
担当教員	石川 恒夫、臼井 敬太郎 大竹 海、佐藤 桂火 (全回、全教員出席のもと指導)	単位数	学期	曜日	単位数	
		2単位	前期	火曜日	3,4時限	
授業の教育目的・目標	<p>身体の大きさ、日常の生活のごく自然な人の行為行動を理解し、その理解を環境デザインに反映できる能力を身につける。同時に、設計のための基礎的なスキル及び倫理を課題の遂行を通して学ぶ。</p>					
学科の学修・教育目標との関係	<p>建築設計者・技術者として記述能力、描画能力、ものを作る能力を通して、自分の考えを表現することができる。</p>					
キーワード	設計 寸法 空間 環境 生活 プレゼンテーション					
授業の概要	<p>人と環境の関わりを、リアリティを持って考えることを趣旨とした課題をエスキス、講評および、ディスカッションを繰り返しながら完成する経験を重ねる。制作した作品は、折に触れて他の学生や一般に発表する場を設け、プレゼンテーション演習の機会とする。</p>					
授業の計画	<p>第1回： 課題1 出題椅子の制作：段ボールを利用して実際に用立てることの可能な椅子を作成する。人体寸法の把握、利用場面にあった形状の提案を要求する。 (1) レクチャー (2) 出題+アイディアのスケッチ(即日)</p> <p>第2回： 椅子の制作(2) 模型によるエスキス</p> <p>第3回： 椅子の制作(3) 模型によるエスキス2回目、デザインの決定</p> <p>第4回： 椅子の制作(4) 作品及びパネルの提出、講評会 課題2 出題 「光の空間」(課題は変わる可能性あり)</p> <p>第5回： 課題2 プレ課題(光と陰の風景写真) エスキス①</p> <p>第6回： 課題2 エスキス模型発表②</p> <p>第7回： 課題2 エスキス③</p> <p>第8回： 課題2 提出プレゼンテーション、採点</p> <p>第9回： 課題2 課題講評 +スライドレクチャ +課題3 出題「小住宅の設計」</p> <p>第10回： 課題3-1 グループ指導 エスキスの主要着眼点：場所の選定理由と配置について 模型及び図面を用いる</p> <p>第11回： 課題3-2 グループ指導 エスキスの主要着眼点：配置と平面計画 生活との関わり方</p> <p>第12回： 課題3-3 グループ指導 模型 断面図、立面図のチェック</p> <p>第13回： 課題3-4 図面と模型最終チェック</p> <p>第14回： 課題3 提出プレゼンテーション、採点</p> <p>第15回： 課題3 講評 全体総評</p>					
受講条件・関連科目	<p>基本的に次の2点を基礎的ベースとして有していなくては本講義の履修は困難である。①1年で学習した建築系の専門科目に関する知識全般。②設計製図の基礎技術。</p>					
授業方法	<p>全て演習課題である。出題時など、随時、様々な関連資料を配布、講義を行う。一つの課題ごとに講評会を開催する。折に触れて、地域に公開して行う。</p>					
テキスト・参考書	<p>必要な資料は配布する。 コンパクト版建築設計資料集成はなるべく常に手元におくこと。</p>					
成績評価	<p>・期末試験(%) ・レポート(%) ・その他(課題)(100%) ・小テスト(%) ・受講態度(%) 提出物を全て提出しなくてはならない。</p>					
履修上の注意	<p>各課題は、順に体験することによって上記の目標を達成できるように工夫されたものであるため、学生は各課題を確実に時間内に作成し、次のプロセスに進むことに集中する必要がある。提出物の遅れ、未提出は避けなくてはならない。</p>					